



2023年11月10日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 乾 康之
(コード番号：9308 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経理部長 一井 聡
(TEL. 03-5548-8613)

2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異 及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2023年8月10日に公表した2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値(2023年4月1日～2023年9月30日)と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2023年8月10日に公表した2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

- 2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,373	百万円 184	百万円 337	百万円 △238	円 銭 △9.50
実績値(B)	14,943	852	1,097	299	11.96
増減額(B-A)	△429	668	760	537	—
増減率(%)	△2.8%	363.4%	225.6%	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期第2四半期 連結累計期間)	26,293	10,464	11,224	7,659	306.06

- 2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異理由

外航海運事業においては、概ね前回発表時の市況想定内で推移しましたが、上期に予定していた船舶の入渠工事が一部下期に実施となったことで営業費用が減少し、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益について前回発表を上回ることとなりました。

なお、倉庫・運送事業および不動産事業については概ね前回発表予想通りに推移いたしました。

3. 2024年3月期通期連結業績予想値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 30,722	百万円 621	百万円 686	百万円 300	円 銭 11.98
今回発表予想（B）	31,259	1,762	1,906	1,081	43.07
増減額（B－A）	537	1,141	1,220	781	－
増減率（％）	1.7%	183.7%	177.8%	260.3%	－
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	44,267	13,067	13,431	9,857	393.71

4. 業績予想の修正理由

2024年3月期通期のドライバルク船（ハンディサイズ船）の市況想定を前回予想US\$9,300/dayから今回予想US\$10,113/day（差異US\$813、増減率8.7%）へ、また為替想定を、直近の為替相場の状況を踏まえ、前回予想¥141.00対US\$から今回予想¥150.00対US\$に変更しております。

売上高は、貸船契約比率に対して貨物輸送契約比率の低下が押し下げ要因となるものの、市況の上昇及び為替の変動が押し上げ要因となり、前回予想比で増加する見込みです。一方で営業費用は、売上高と同様に為替の変動が押し上げ要因となりますが、貨物輸送契約比率の低下が押し下げ要因として大きく影響し、前回予想比で減少する見込みです。その結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益においては、売上高の増加と営業費用の減少により、売上高の増減率よりも大きく上昇する予想となりました。

なお、倉庫・運送事業及び不動産事業は概ね期初想定通りに進捗しております。

5. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 3.00	円 銭 3.00	円 銭 6.00
今回発表予想		9.92	12.92
当期実績	3.00		
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	6.00	178.00	184.00

6. 配当予想の修正理由

今回の業績予想修正に伴い、以下の当社の配当政策における判断基準により、年間配当金（合計）を12.92円に修正しております。

当社は、「事業特性」、「中長期的成長を重視した経営資源の配分」、「財務基盤」の3つのバランスがとれた株主還元策であることを基本として、業績にかかわらず一定水準の配当を安定的に維持する配当政策を行ってまいります。基本となる考え方は、「良いときは笑い、悪いときにも泣かない」です。

業績に応じて、良いとき、悪いときの判断基準および最低配当額を定め、「良いとき」には配当性向の累進により増配し、「悪いとき」にも無配を前提にはいたしません。

判断基準	配当目標計算基準
良いとき	配当性向 30～45%程度
基本	配当性向 30%程度
悪いとき	年間 6 円

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上